

編 集 後 記

埼玉県環境科学国際センター報は、県民並びに関係諸機関にセンターの活動を紹介するための情報源としてだけではなく、環境情報の収集・発信のための媒体としての役割があります。センターは平成12年4月に活動を開始しており、本報（第25号）は、25年度目に当たる令和6年度の活動を記録したものです。

令和6年度は、共同研究契約を締結した民間企業の数が10社で過去最高となり、研究面でより幅広く活発な連携を図ることができました。また、大学、国立研究開発法人、民間企業等との研究成果をもとに4件の特許を出願しました。このように共同研究による成果が、近年実を結ぶ形になってきており、社会実装化が今後加速していくと考えられます。

令和7年1月28日に八潮市内で発生した流域下水道管に起因する道路陥没事故は、近隣の方々や当該下水道を利用する方々に大きな影響を及ぼしました。この時、陥没現場に流入する下水を減らすため、上流域の下水道汚水を河川へ緊急放流する措置がとられました。これによる緊急放流地点下流の河川水質への影響が未知数なため、当センターで大腸菌数等の水質分析を1月末から3月末までほぼ毎日実施しました。この対応は、水環境課、環境管理事務所等と協働して行い、県のホームページでの迅速な調査結果の公表に貢献しました。

本報は、印刷原稿の作成までをセンター全職員の参加により行ったものですが、編集方針・内容の決定、具体的作業に当たっては、下記の編集委員会がその任を負っています。

令和7年9月

編 集 委 員 一 同

〈 編 集 委 員 会 〉

茂 木 守（研究推進室長）	三 輪 誠（研究推進室）
長 谷 隆 仁（資源循環・廃棄物担当）	黒 木 唯（事務局）
横 塚 敏 之（研究企画室）	井 上 美 治（研究企画室）
岡 本 慎 吾（生物多様性保全担当）	河 野 な つ 美（温暖化対策担当）
松 本 利 恵（大気環境担当）	安 野 翔（自然環境担当）
落 合 祐 介（化学物質・環境放射能担当）	木 持 謙（水環境担当）
石 山 高（土壌・地下水・地盤担当）	

〈 協 力 者 〉

八 戸 昭 一（研究企画室長）

埼玉県環境科学国際センター報

第25号 令和6年度
令和7年10月31日発行

発行：埼玉県環境科学国際センター